



すべての階層の層序区分単位に対して、その下限をGSSPs(国際境界模式層断面とポイント)によって定義する作業が進行中である。これは、長らくGSSA(国際標準層序年代)によって定義されてきた太古(累)界および原生(累)界の下限に対しても同様である。GSSPsに関する図および詳細な情報は、ウェブサイト <http://www.stratigraphy.org> に掲載されている。

本表に掲載されている年代値は見直されることがあるが、それは顕生(累)界およびエディアカランの層序区分単位の定義の変更を伴うものではない。そのような定義の変更は、GSSPsによってのみ可能である。GSSPsにより定義されていない境界や確定した年代値がない顕生(累)界の層序区分単位境界に対しては、おおよその年代値を「~」を付して示した。

下部更新統、ペルム系、三畳系、白亜系、先カンブリア(累)界を除く全ての界の年代値は、Gradstein et al. (2012) の 'The Geologic Time Scale 2012' による。下部更新統、ペルム系、三畳系、白亜系の年代値に関しては、当該問題を扱う国際層序委員会の小委員会による。

この日本語版ISC Chart(2019年版)は、IUGS(国際地質科学連合)の許諾を得て、日本地質学会が作成した。

表の色は、国際地質図委員会(Commission for the Geological Map of the World (www.cgmw.org)) の推奨に従う。

図案(オリジナル): K.M. Cohen, D.A.T. Harper, P.L. Gibbard, J.-X. Fan
(c) 国際層序委員会, 2019年5月

引用: Cohen, K.M., Finney, S.C., Gibbard, P.L. & Fan, J.-X. (2013; updated) The ICS International Chronostratigraphic Chart. Episodes 36: 199-204.

URL: <http://www.stratigraphy.org/ICChart/ChronostratChart2019-05.pdf>